

<がんサロン和み>

平成29年9月9日土曜日午後1時より、「がん治療と仕事について」をテーマに、がんサロンを開催しました。当院に通院中や入院中の9名の患者様にご参加いただきました。

働く世代への就労支援は、経済的に収入を得るための支援としての側面と、その人の生きがいや社会参加を支えるという社会的側面も持ちます。今回は、がん患者就労支援ネットワークの社会保険労務士さんをお招きし、「がん治療と仕事の両立、利用できる制度 ～治療と暮らし、障害年金など～」という内容でご講演いただきました。講演後に、グループで講師の方を囲んで座談会を行いました。参加いただいた皆様からは、就労や社会生活における困り事に関する質問等が聞かれました。

普段、私たち職員が患者様に接する時間は非常に限定的です。患者様が過ごす多くの時間、つまり「日常・暮らし」を私たちは見ることができません。患者様の日常・暮らしがどのように営まれ、何を不自由に感じ、どのように過ごしたいと望まれているのかという点に着目し、必要な支援を提供する必要があると再確認しました。私たち緩和ケアチームとしても、就労支援に関する情報や知識を習得し、支援に活かせるようにしてまいりたいと思います。今ある資源を生かしながら、さらに良い支援を追求していきたいとあらためて感じました。大変貴重な時間を患者様、講師の方と過ごすことができました。

次回は、12月9日(土)13:00~14:30 三田ホールで開催予定です。内容は現在検討中です。がんサロン参加者の皆様からいただいたご意見をもとに決定していきたいと考えています。



ご講演の様子

この後、座談会が和やかに行われました